

可能な範囲でのご協力をお願いします

1 日頃のお願い

ケアライン 119 受信センターから点検のため利用者へ電話連絡した際、連絡が全くつかない場合や、電話が不通となってしまう場合があります。そのような際、近隣協力者の方へ問い合わせをさせていただく場合があります。事情をご存知であれば教えていただきますようお願いいたします。

2 こんなときはご連絡をお願いします

利用者が次のような場合、近くの消防署へ連絡するようお願いしていますが、状況によってはお手伝いをお願いします。

- 入院などで長期間、不在にされるときや、それから帰宅されたとき。
- 利用者の住所、電話番号等が変わったとき。
- 利用者がケアライン 119 を利用しなくなったとき。
- あなた（近隣協力者）が転居等の理由で協力できなくなったときや、あなたの電話番号が変わったとき。
- 普段から利用者へ、お声がけや気配りをお願いします。

3 緊急時の現場対応

ケアライン 119 受信センターに緊急通報が入り、本人の応答が無い場合の他、受信センターが利用者の生命、身体の保護のため必要と判断した場合は、協力者の方に電話で連絡しますので、可能な範囲で利用者宅に状況の確認をしていただきます。

あらかじめ鍵を預かっている方は、救急隊到着までに開錠をお願いいたします。

(1) 利用者宅を確認した結果、ケガや病気のとき

- 119 番通報で消防に状況を知らせるとともに、できる範囲の応急手当をお願いします。
- 救急車のサイレンが聞こえたら、誘導してください。
- 現場到着した救急隊に事故の状況、かかりつけ病院、日頃の健康状態などの情報を教えてください。
- 利用者宅の戸締り、火の元などの確認をお願いします。



(2) 火事のとき

- 大声で近所に知らせ、消防へ119番通報してください。
- 近所の人と協力して、消火、救助や避難誘導をしてください。
- 逃げ遅れの有無、家族構成などを消防隊に知らせてください。

